



2020年2月3日
株式会社サッポロドラッグストアー

各位

サッポロドラッグストアー、サイバーエージェント、AWLとの業務提携契約締結

～ サツドラ店舗のデジタルトランスフォーメーション推進 ～

株式会社サッポロドラッグストアー（本社：北海道札幌市、代表取締役社長：富山 浩樹、以下「当社」）は、株式会社サイバーエージェント（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：藤田 晋、以下「サイバーエージェント」）、及びAWL株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：北出 宗治、以下「AWL」）との間で、「オンラインとオフラインを融合したマーケティングプラットフォームの確立」に向けた実証実験を行うことを目的とする業務提携契約（以下「本提携」）を締結いたしました。

サツドラグループは、中期経営計画の成長戦略の一つに「デジタルトランスフォーメーションの推進」を掲げており、AI技術の発展をはじめとする第四次産業革命などマクロ環境の影響に対応すべく、グループとしてIT化を積極的に進め、デジタルトランスフォーメーションを推進してまいりました。

本提携においては、国内主要メディア取扱実績が豊富なサイバーエージェントが持つ広告販促業界でのネットワーク及びノウハウと、AWLが保有するAIカメラ及び関連技術を活用し、OMO領域^{※1}でのマーケティングを強化し、実店舗のデジタルトランスフォーメーションの成功モデルの確立を目指します。

近年、米国や中国では、ECを祖業とするアマゾンやアリババが実店舗や物流の領域に多額の資金を投じ、ネットとリアルを融合させたサービスを展開するなど、オンライン出自の企業がオフライン（リアル店舗）へ進出する形でOMO領域での活動が活発化しており、日本における注目度も高まっています。

当社の店舗においては、AIカメラやIoTデバイスから取得した各種データを活用した最適な販促施策の実施や魅力的な売場づくり、デジタルサイネージを利用した店舗のメディア化、デジタル広告を使った店舗への集客最適化など、「実店舗のデジタルトランスフォーメーション」の実現に向けた様々な取組みを進めてまいります。

^{※1}OMOとは、「Online Merges with Offline（オンラインとオフラインの融合）」の略称で、オンラインとオフラインの垣根を超え、双方一体的なサービスで顧客体験の向上を図っていくマーケティング戦略のことを指す

■ 本提携の目的

- ・ OMO 分析運用プラットフォームの共同開発ならびに外部への販売
- ・ 併せ買いや高単価商材へのスイッチによる日販の向上
- ・ 特定メーカーの商材の販売を行うことによる販促費の獲得
- ・ 店舗集客の最適化ならびに最大化

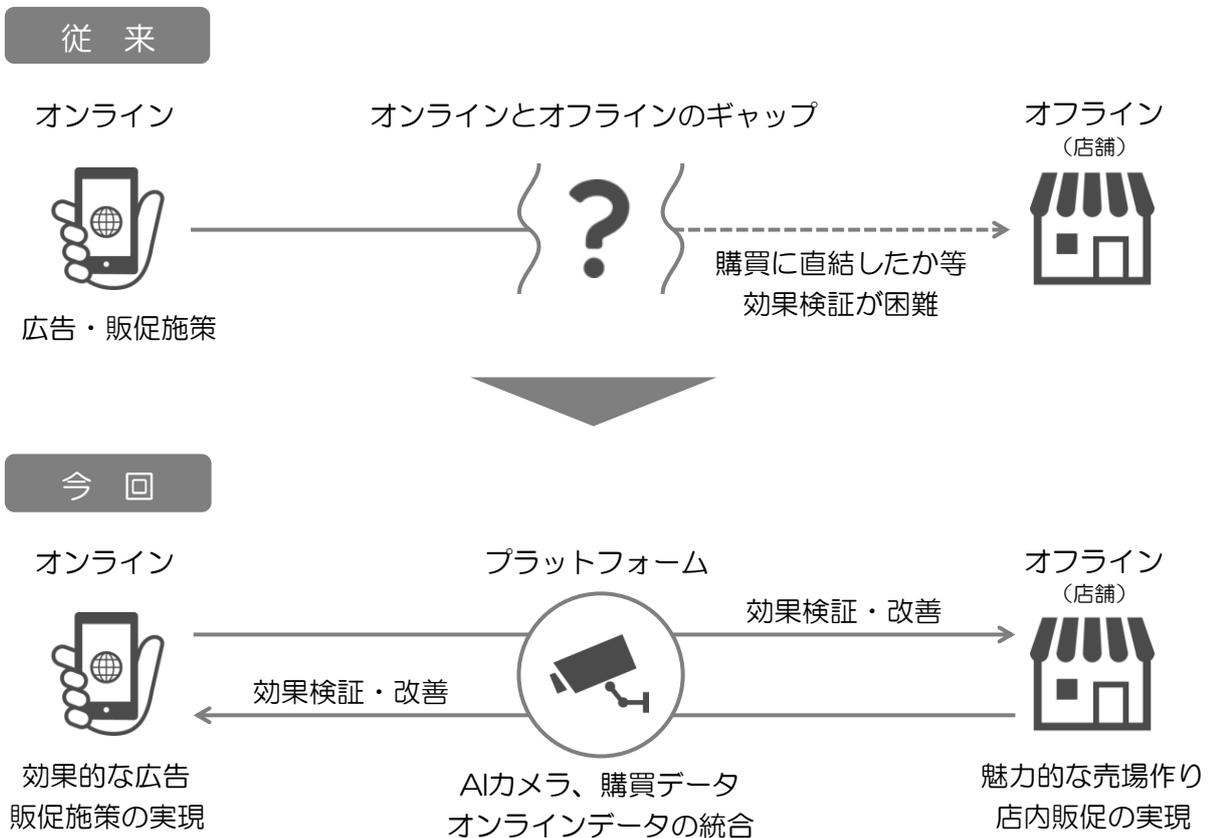
■ 本提携において各社が提供する主な役務

サイバーエージェント	デジタル広告のノウハウ、自社プロダクト、デジタルトランスフォームを実現するための開発リソース
AWL	実店舗を可視化するための AI カメラのデータ、リテール顧客とのコネクション
サッポロドラッグストア	実店舗に関連した、データ、空間、ノウハウ、メーカーとのコネクション

■ 本提携で実施する実証実験の内容

1. OMO 分析運用プラットフォーム開発に向けたデータ収集、PDCA によるノウハウ蓄積
2. デジタルサイネージによる購買の行動変容
3. AI カメラや POS などで取得可能なデータを活用した販促施策
4. 自社アプリの販促メディア化と販促施策
5. デジタル広告を活用した店舗への集客最適化

■ 本提携で実現したいことのイメージ



■株式会社サッポロドラッグストアについて

2016年8月に設立したサツドラホールディングス株式会社の事業会社で、北海道を中心にドラッグストア208店、調剤薬局10店（2019年11月15日現在）を運営。

1972年に札幌市内のスーパーマーケット内に1号店を出店後、品揃え・サービスを拡大しながら出店を重ね、2016年3月にストアブランドを「サツドラ」に変更。ドラッグストア事業を顧客接点としながら、子育て支援や過疎地域、離島への出店など、地域に根差した取り組みを実施している。

<本件に関するお問い合わせ先>

■サツドラホールディングス株式会社

CIグループ 広報・CSR担当 紺屋・安田 TEL 011-771-8511